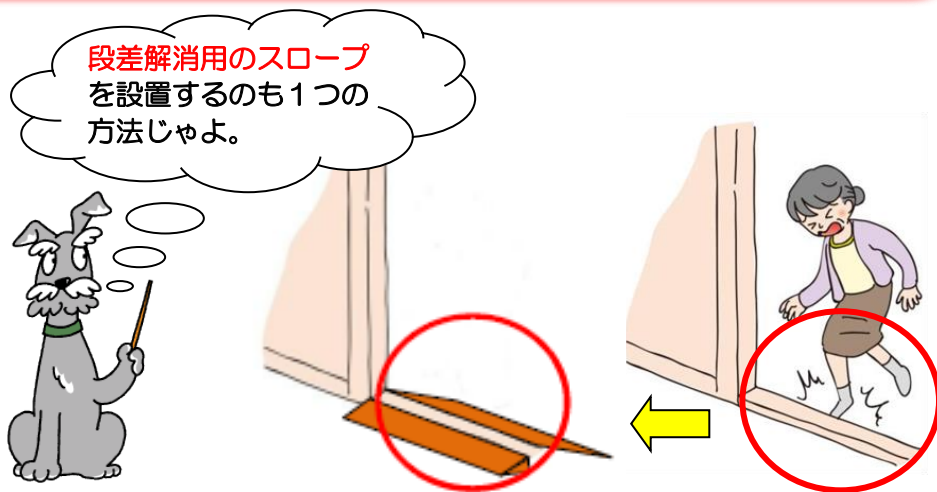


高齢者の「ころぶ」事故を防ぐために

- 段差をなくしましょう。
- 段差（段の先端部）を分かりやすくしましょう。
- 足元を十分に明るくしましょう（足元灯・照明器具の設置など）。
- 滑り止めをしましょう（階段・廊下・玄関先など）。
- 歩行を補助しましょう（手すりなど）。
- 継続できる、体力にあった運動をしましょう（散歩など）。
- ころぶ原因となるものは取り除きましょう（整理・整頓）。

「ころぶ」事故を防ぐ対策として



【お問合せ先】
 東京消防庁防災部防災安全課
 電話 03-3212-2111（代表）
 FAX 03-3213-1478
 ホームページ <http://www.tfd.metro.tokyo.jp>



東京消防庁 Twitter
 @Tokyo_Fire_D

東京消防庁
 Facebook

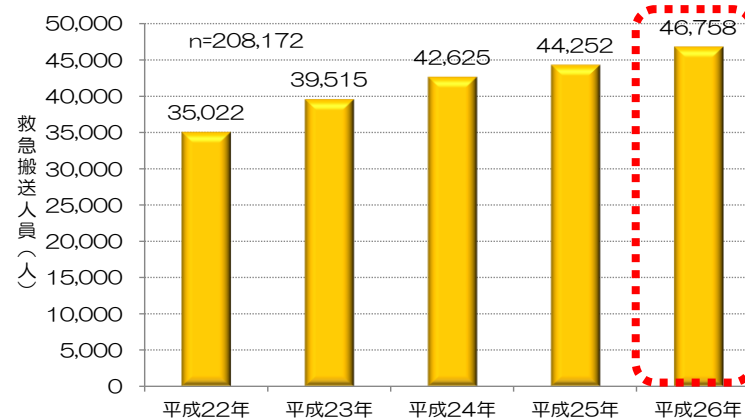
Twitter や Facebook でイベント情報や日常生活に関する事故情報などを発信しています。

STOP！高齢者の事故シリーズ ② 高齢者の事故を減らそう

STOP！高齢者の「ころぶ」事故

東京消防庁

平成26年中は、**約4万7千人**の高齢者が**ころんだ**ことによりケガをして救急搬送されています。

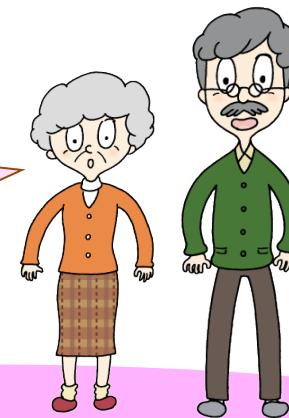


高齢者（65歳以上）の「ころぶ」事故による年別救急搬送人員

日常生活の中の事故^{※1}で救急搬送されている高齢者の

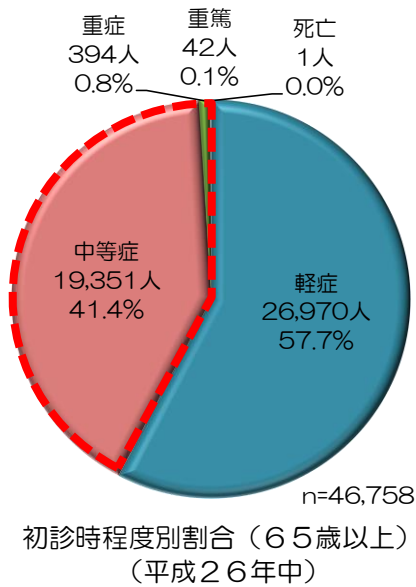
約8割^{※2} が「ころぶ」事故

ころばない**対策**をしなければいけないねえ。



※1 交通事故や火災によるケガ人は含まれていません。
 ※2 その他・不明を除く。

初診時程度別割合



4割以上が入院の
必要があるとされ
る中等症以上

軽 症：入院を要しないもの
中 等 症：生命の危険はないが入院を要するもの
重 症：生命の危険が強いと認められたもの
重 篤：生命の危険が切迫しているもの
死 亡：初診時死亡が確認されたもの

こんな事故が起きています。

【事例】

自宅で敷物に足を取られ転倒し腰部を受傷。様子を見ていたが、翌日になっても改善しないため、家族が救急要請したものの。（100歳 女性 重症）

【事例】

自宅で掃除中、掃除機のホースにつまずき転倒し受傷したものの。（78歳 女性 重症）

※ 図のデータは、東京消防庁管内で救急搬送されたもの。
東京消防庁管内：東京都のうち、稲城市、島しょ地区を除く地域（東久留米市は平成22年4月1日から東京消防庁管内）

東京消防庁救急相談センター（24時間・年中無休）

受付電話番号#7119（携帯電話・PHS・プッシュ回線）

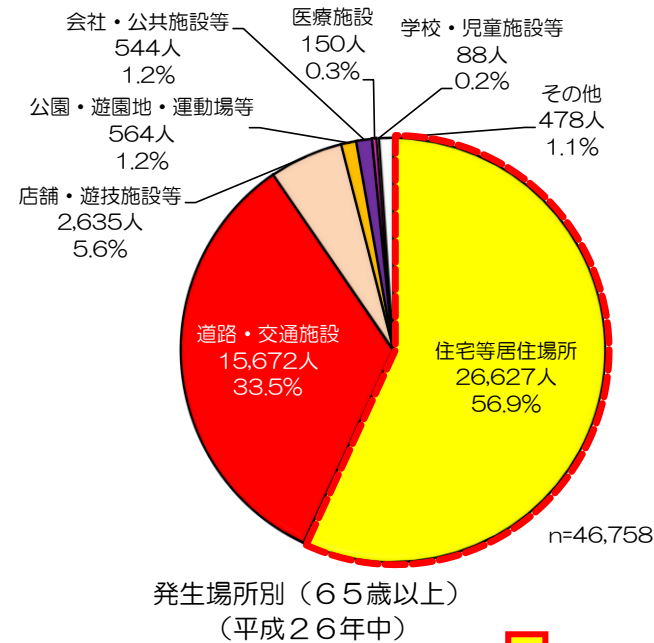
その他の電話、または、つながらない場合は

【23区】03-3212-2323

【多摩地区】042-521-2323

事故の発生場所

住宅等居住場所が最も多く、その中でも普段生活している
「居室・寝室」が多くなっています。



家の中での
ころぶ事故が
多いんだね。

